

創部以来初の快挙 水泳部競泳部門1部昇格を決める 男子・女子ともに準優勝



水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。

8月1日から4日開催の「第96回関東学生選手権水泳競技大会」において、体育会水泳部競泳部門男子・女子がそれぞれ2部準優勝の成績を収めた。これにより1958年創部以来初の快挙となるため、個人としての

8月1日から4日開催の「第96回関東学生選手権水泳競技大会」において、体育会水泳部競泳部門男子・女子がそれぞれ2部準優勝の成績を収めた。これにより1958年創部以来初の快挙となるため、個人としての

2つ目は、練習内容を選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

「水泳部前主将の江島慧(総教3)に話を聞いた。今回準優勝できた勝因や練習などで工夫した点は、練習メニューを選手それぞれに合わせた内容とチーム一丸となつて取り組む内容に分けたこと。競泳は専門とする種目や距離によって必要となる練習内容が異なります。そのため、共通練習だけでは練習強度に偏りが発生し、全ての選手が成長できる練習にならない可能性があるため、チームごとに練習メニューを

競技ダンス部1部校昇格 個人で2部門優勝も

6月24日、25日開催の「第111回東部日本学生競技ダンス選手権大会」において、体育会競技ダンス部が団体成績10位となり、1部校へ昇格した。

競技ダンスは、男女混合で競うスタンダード4種目(ワルツ、タンゴなど)とラテン4種目(チャチャチャ、サンバなど)に加え、4〜8組のカップルが踊るフォーメーションという種目を合わせた9種目で競い合う競技。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。



唯一の団体種目、フォーメーションモダン



団旗を前に集う部員たち

競技ダンスは、男女混合で競うスタンダード4種目(ワルツ、タンゴなど)とラテン4種目(チャチャチャ、サンバなど)に加え、4〜8組のカップルが踊るフォーメーションという種目を合わせた9種目で競い合う競技。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

競技ダンス部は創部60年の歴史を持つ団体で、現在部員1〜4年生合わせて約40人で活動している。1部校へ昇格は4年振りの快挙となる。副主将のリンズィー・マヤ樹里杏さん(法3)は「コロナ等で大変な時期もありましたが、卒業生の方々による日頃からの温かいご支援のおかげでこの度1部校に昇格することができました。新入生を含め秋シーズンの大会でも良い結果を出せるよう日々精進して参ります」と話している。

第77回ソフィア祭 11月1日〜4日に開催



実行委員長の伊草さん



sophia festival 2023

今年で77回を迎えるソフィア祭学園祭が、11月1日から4日にかけて開催される。「今年のテーマは「BUM P」。在学生、卒業生、ゲストや来場者など、ソフィア祭に携わるすべての人々の思いや個性がぶつかり合い、心揺さぶられるような学園祭をつくりあげたい」という想いを込めた」と主催者のソフィア祭実行委員会は意気込む。

1日の前夜祭では、上智NO.1の歌声を決める「歌うま王決定戦」や、ソフィア祭でしか見られないサークルライブ、現役大学生モデルによるファッションショーなどが行われる。2〜4日の本祭は、ゲストによるトークショー、学科模擬授業などに加え、毎年開催される「Sophian's Got Talent」。もう一つは、審査を通過した5人の候補者が「Progress」というテーマのもと、自身の魅力や社会課題に対する取り組みを発表し、インフルエンサーとしての活躍を競う「Sophian's Contest」だ。テーマには本コンテストのさらなる進化を目指す意味とともに、コンテストを

盛り上がりを見せる二つのメインイベントが催される予定だ。一つは、上智大学から未来のスターを発掘しようというコンセプトのもと、候補者が自らの特技や活動をアピールし、優勝者を「スター」として表彰する「Sophian's Got Talent」。もう一つは、審査を通過した5人の候補者が「Progress」というテーマのもと、自身の魅力や社会課題に対する取り組みを発表し、インフルエンサーとしての活躍を競う「Sophian's Contest」だ。テーマには本コンテストのさらなる進化を目指す意味とともに、コンテストを

盛り上がりを見せる二つのメインイベントが催される予定だ。一つは、上智大学から未来のスターを発掘しようというコンセプトのもと、候補者が自らの特技や活動をアピールし、優勝者を「スター」として表彰する「Sophian's Got Talent」。もう一つは、審査を通過した5人の候補者が「Progress」というテーマのもと、自身の魅力や社会課題に対する取り組みを発表し、インフルエンサーとしての活躍を競う「Sophian's Contest」だ。テーマには本コンテストのさらなる進化を目指す意味とともに、コンテストを

盛り上がりを見せる二つのメインイベントが催される予定だ。一つは、上智大学から未来のスターを発掘しようというコンセプトのもと、候補者が自らの特技や活動をアピールし、優勝者を「スター」として表彰する「Sophian's Got Talent」。もう一つは、審査を通過した5人の候補者が「Progress」というテーマのもと、自身の魅力や社会課題に対する取り組みを発表し、インフルエンサーとしての活躍を競う「Sophian's Contest」だ。テーマには本コンテストのさらなる進化を目指す意味とともに、コンテストを

学芸員課程の博物館実習を ソフィア・アーカイブズで実施

記念品展示を企画



採寸作業をする実習生

ソフィア・アーカイブズでは、学芸員課程履修生4人による博物館実習を、9月11日から15日までの5日間にわたり行っ。初日に北條勝貴館長、木村増夫副館長から

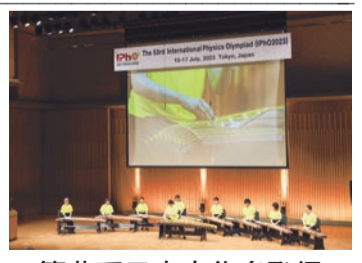
アーカイブズの重要性や大学アーカイブズの役割についての講話があり、後藤暁子事務長からは実際の業務について説明があった。

実習では、本学が節目節目に製作した記念品類約170点について、1点ずつの目録作成(仮番号付番、採寸、撮影、資料の詳細な情報の入力)を行った。次に記念品を

展示するための企画書を各自作成。4人で話し合っ一つのテーマを決め、展示用のパネルなどを制作した。

実習生の三浦凛さん(総教3)は「数々の記念品を通じて大学がこれまで歩んできた歴史に触れることができ、とても貴重な経験になりました。また、感想を述べた。また、教職・学芸員課程せ

日本初開催 国際物理オリンピック大会に協力 世界各国の高校生代表チームと交流



等曲で日本文化を発信

7月10日から17日、一般社団法人国際物理オリンピック2023協会主催、文部科学省後援の「第53回国際物理オリンピック日本大会」が国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区代々木神園町)で開催された。研究機関の他、本学を含む6つの大学が大会に共催し、40人を超

える上智生が学生スタッフとして協力した。国際物理オリンピックは、各国から高校生などが参加する物理の国際的なコンテストだ。物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育が一層発展されることを目的として、1967年に第1回大会がポーランドで開催された。日本初開催の今大会には、総勢80人で、代表選手が参加した。会期中、上智生は学生

コーヒー杯がマラウイ の子どもの給食支援に

9月11日から紀伊國屋書店上智大学店で、東アフリカ・マラウイ共和国産のコーヒードリッパーバッグが発売されている。本学創立110周年記念として、NPO法人「せいじやばいぼじゃばん」代表の山田真人さん(2017年神卒)とソフィアキャンパスサポート(SCS)が共同で企画した商品だ。

マラウイは世界最貧国の一つ。「せいじやばいぼじゃばん」では現在、マラウイ北部および南部に暮らす1万7千人以上の子どものために給食支援活動を行っている。コーヒー杯の購入が、マラウイの子どもの8人分の給食支援につながる。SCSの担当職員は、「AAランクのフ

エアトレッドコーヒーが使われており、味も高い評価を得ている。多くの方に手に取ってもらいたい」と話している。

■商品名: マラウイ産コーヒードリッパーバッグ
■価格: 1,300円(税込)

■販売場所: 紀伊國屋書店上智大学店のみ

卒業生との協力が企画
2015年卒文芸、2017年神卒山田真人、マラウイの学校給食支援を企画
豊かなココと樹木系のすっきりした後味!

マラウイの給食支援に繋がるコーヒー杯
1杯で約8人分の給食の支援に!

AAランクのアラビカ種100%のフェアトレードコーヒー